

## 第3章 推進体制と進行管理・評価指標

### 1 推進体制

#### (1) 市民ぐるみの計画推進

本計画の推進にあたっては、市民一人一人が男女共同参画の意義を理解し、他人事ではなく自分事として取り組むとともに、市内関係団体や事業所等と行政とが計画の目標等を共有しながら事業を実施するなど、連携・協働を図りながら、「輝いて 自分らしく生きられるまち 鹿嶋」を目指して推進していきます。

特に市民の皆さんの参画は、施策に取り組む中で大きな推進力となります。そうした参画が活発に行なわれるよう機運の醸成を図りながら、意見や提言などを広く収集して施策に反映させていきます。

#### (2) 庁内の推進体制

市民や事業者、各団体の代表者の皆さんで構成する「鹿嶋市男女共同参画推進委員会」に施策の進捗状況を報告するとともに評価・進行管理を行なうことで、施策の充実を図ります。

また、庁内の推進に関しても、全庁的な取り組みとして、市職員の男女共同参画の視点による様々な施策への反映と合わせて施策の管理と評価を行なうとともに、状況の変化等に応じて見直しを行ないながら、本計画の目標達成を目指します。

### 2 計画の進行管理

庁内関係各課の取り組み状況について毎年調査を行ない、その結果に対し「鹿嶋市男女共同参画推進委員会」で評価・意見等を受けて、次回の事業に活かしていくことで、本計画の着実な進行を図っていきます。

あわせて、5年ごとの計画見直しの際には、市民意識調査を実施し広く意見聴取を行なうとともに、本計画で掲げた施策の推進が市民や事業者の皆さんにどのように浸透したのか、どれくらい成果があったのかなどを測るための客観的な尺度となる「成果指標・参考指標」を設定し、計画の総括的な評価の資料として次期計画の策定に役立てていきます。

### 3 計画の成果指標

#### 基本目標1 男女共同参画・ダイバーシティ社会の実現を目指した意識づくり

	指標項目	2020年 調査時値	2025年 調査時値	2030年 目 標	前回目標値
1	「男性は仕事, 女性は家庭」といった考え方について, 「(どちらかといえば) そう思わない」と回答する人の割合	69.3%	72.5%	80.0%	80.0%
2	社会全体で「男女の地位は平等」と感じる人の割合	15.1%	14.1%	30.0%	30.0%

#### 基本目標2 誰もがあらゆる分野に参画し活躍できるまちづくり

	指標項目	2020年 調査時値	2025年 調査時値	2030年 目 標	前回目標値
3	各種審議会等(地方自治法第202条の3)に占める女性委員の割合(参考:市規定に基づく委員会を含む割合)	35.0% (35.5%)	33.8% (38.7%)	45.0% (45.0%)	45.0%
4	各審議会等における女性委員の割合が30%以上の委員会の割合(参考:市規定に基づく委員会を含む割合)	65.2% (65.0%)	64.0% (63.6%)	75.0% (75.0%)	75.0%
5	「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っている人の割合	44.5%	48.6%	55.0%	55.0%
6	職場で「男女の地位は平等」と感じる人の割合	18.6%	20.6%	25.0%	25.0%
7	家庭生活上で「男女の地位は平等」と感じる人の割合	8.6%	16.5%	25.0%	15.0% 目標値再設定
8	まちづくり連絡協議会及び地区まちづくり委員会における女性役員などの割合 (令和7年4月調査)	19.2%	25.7%	30.0%	30.0%

#### 基本目標3 生涯を通して誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり

	指標項目	2020年 調査時値	2025年 調査時値	2030年 目 標	前回目標値
9	女性のがん検診等の受診率	44.3%	47.7%	50.0%	50.0%
	・乳がん検診 ・子宮がん検診	41.0%	43.5%	50.0%	50.0%
10	ストレスや悩みを(感じているときに)相談している人の割合	32.5%	42.4%	50.0%	35.0% 目標値再設定
11	DVを受けた経験があると回答した人の割合	5.8%	7.8%	0	根絶を目指す
12	DVを受けた経験がある人のうち, どこ(だれ)にも相談しなかった人の割合	52.8%	44.4%	20%以下	20%以下
13	セクシュアル・ハラスメントを受けた経験があると回答した人の割合	8.1%	8.9%	0	新規追加項目

出典: No1,2,5,6,7,11,12,13=男女共同参画市民意識調査(2019年度, 2024年度実施)  
 No3,4,8 = 審議会等の女性の登用状況調査(2020年, 2025年4月現在)  
 No9,10 = 健康づくりアンケート調査(2019年度, 2024年度実績)

## 【参考指標】

各分野における男女雇用同参画にかかる事業の進捗状況を把握するため、参考とする指標項目を選定しました。

	項目	2020年	2025年
1	市職員に占める女性の割合	28.4%	31.5%
2	市職員の管理職員（一般行政職）に占める女性の割合（課長相当職以上の者）	25.0%	32.4%
3	市職員の管理・監督職員（一般行政職）に占める女性の割合（係長職以上の者）	25.2%	27.6%
4	市職員※の年次有給休暇の平均取得日数 ※当該年度全期間在職している者を対象	12.9日 (2019年度)	15.5日 (2024年度)
5	市男性職員の育児休業取得の割合	0.0% (2019年度) 対象者10人	44.4% (2024年度) 対象者9人
6	市職員の年間時間外勤務時間（※1） 一月あたり平均時間外勤務時間（※2） ※1 週休日の振替の結果、法定労働時間を超えて勤務したときの時間数を含む。 ※2 年間時間外勤務時間÷時間外勤務手当支給対象者数	49,468時間 11.38時間/月 (2019年度)	28,669時間 7.56時間/月 (2024年度)
7	委員会等に占める女性の割合（地方自治法第180条の5に基づく委員会（監査委員等））	17.9%	22.2%
8	自治会における女性の会長の割合	3.0%	1.02%
9	市議会議員に占める女性の割合	15.0%	10.0%
10	市の子育て環境や支援に満足している（やや満足を含む）人の割合 ※子ども・子育て調査（5年に一度）から	11.7% (2018年度)	20.8% (2023年度)
11	市内保育所待機児童数	0人	0人
12	病児・病後児保育園数	1カ所	5カ所
13	延長保育事業実施カ所数 ※通常の利用日及び利用時間外の日及び時間における保育の実施。	24カ所	公立・私立全園 (25園)で実施
14	幼稚園型一時預かり事業（旧預かり保育）実施カ所数	11カ所	12カ所
15	地域子育て支援拠点事業設置カ所数	7カ所	4カ所
16	放課後児童クラブ設置数，定員	35カ所 1,336人	38カ所 1,461人
17	マタニティクラス（母親学級）の開催回数，参加者延人数	15回，70人 (2019年度)	12回，60人 (2024年度)
18	ペアコース（両親学級）の開催回数，参加者実人数	6回，67組 (2019年度)	6回，55組 (2024年度)
19	妊産婦健康相談実施回数	57回 (2019年度)	33回 (2024年度)

※特に表記のないものは、2020年調査時値は2020年4月1日現在、2025年調査時値は2025年4月1日現在